参考資料8

# 土地・不動産情報ライブラリの活用について



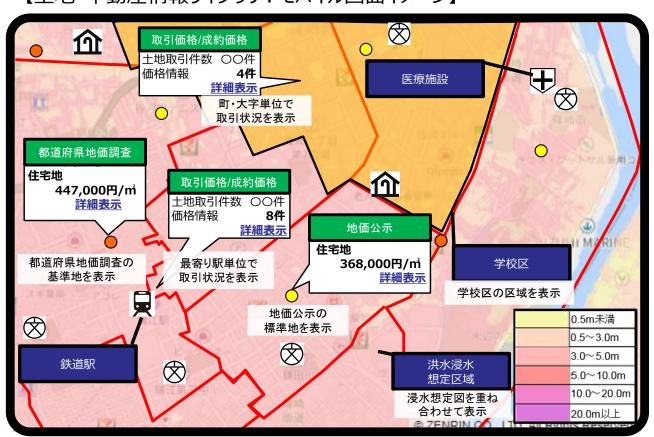
### 土地・不動産情報ライブラリの概要



〇消費者が不動産取引に必要な情報を一元的に入手・把握し、エリアや物件選択を行いやすくするため、土地・不動産に関する情報を地図上に重ねて表示する「土地・不動産情報 ライブラリ」を構築中。(令和6年度公開・運用開始予定)

消費者が各種情報を取得しやすくすることで、不動産業者と消費者の間の 不動産取引情報に係る情報の非対称性を解消し、消費者保護や不動産取引の活性化を実現

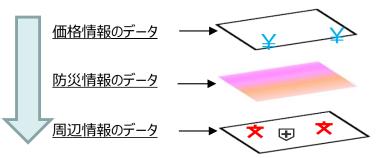
【土地・不動産情報ライブラリ: モバイル画面イメージ】



#### ライブラリ利用のメリット

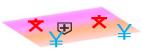
不動産取引に必要となる複数のテーマを同じ 地図上に重ね合わせることが可能。

例)既存サイト等では、洪水浸水想定区域と小学校、医療施設などを<u>重ね合わせて、同時に表示し、</u>位置関係を把握することは難しい。

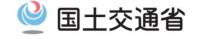


ライブラリによって、<u>複数のテーマの情報を重ね</u> 合わせて「見える化」することができる。

例)地価公示・地価調査、 洪水浸水想定区域、周辺 施設のデータを重ね合わせ



### 土地・不動産情報ライブラリの利用イメージ①



- ・土地・不動産情報ライブラリでは、ユーザーの選択によって不動産に係るさまざまな情報を重ね合わせる ことが可能
- ・背景地図に掲載されている情報とあわせて、購入等を検討しているエリアの環境などをPCやスマートフォンで容易に把握することが可能。

### 想定ユーザ① 子育て世代

保育園や小児科が

近くにあるか

スーパー、コンビニ

は近い方が良い

子供が大きくなっ

たら通う小学校は

どこになるか

【土地・不動産情報ライブラリ:画面イメージ】



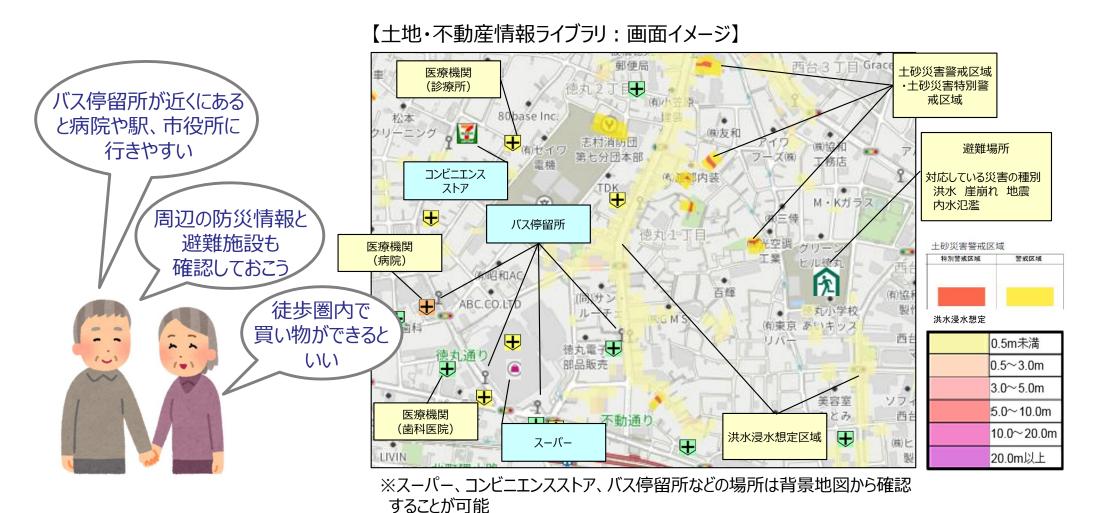


※コンビニエンスストアなどの商業施設、公園などの場所は背景地図から確認する ことが可能

## 土地・不動産情報ライブラリの利用イメージ②



### 想定ユーザ② シニア世代



### 土地・不動産情報ライブラリの利用イメージ③



・現在居住しているエリアから離れた「土地勘のない」エリアへの移住や二地域居住を検討する場合も、検討しているエリアの周辺環境のほか、将来の人口推計や近隣の価格情報も併せて把握することが可能

ライブラリで

住所検索

#### 空き家バンク



価格 **1,650**万円 間取 5DK 建物面積 120.75㎡ 土地面積 173.27㎡ 築年月 1973年3月 所在地 <u>A県B郡C町大字△△</u> 交通 ○○駅 / 徒歩10分



価格 **750**万円 間取 6DK 建物面積 145.8㎡ 土地面積 310.73㎡ 築年月 1979年9月 所在地 <u>A県D市××1丁目</u> 交通 △△駅 / 徒歩16分

価格はどちらも割安感があるな

災害の危険がある 箇所も含まれる地域 だから確認が必要



住んでいる人は 大きくは減らなさそう

学校も病院もあまり遠くなさそう

【土地・不動産情報ライブラリ:画面イメージ】

